

2023年NCF助成金事業 研究テーマ講評

※敬称略・登録順

登録番号	助成区分	研究機関名	代表者名	担当者名	役職等	テーマ	講評（要旨）
Gr1-2301	研究助成	大同大学 工学部建築学科 武藤隆研究室	学長/工学部長 神保睦子	武藤 隆	学科長/教授	ノゴリ屋根工場跡の再編の試み	愛知県一宮市に現存する尾州毛織物のノゴリ屋根工場を事例として、目的や機能のみを優先するのではなく、歴史的・産業技術史的観点から有効利用しようとする試みで、空間デザインの在り方を、社会的有用性の観点から検討する研究であり、他の地域・事例への応用なども期待される。
Gr1-2302	研究助成	早稲田大学 創造理工学部 建築学科 渡邊大志研究室	准教授 渡邊大志	加藤 彩那	大学院 修士課程1年	クロスオーバー・アーキテクチャ研究－多機能な「曖昧な立体（部品）」の開発・生産・流通による空間的实践－	都市を部品の集合と捉える『クロスオーバーアーキテクチャー理論』に基づいて「小さなオブジェクトがスケールの違いを超えて建築や都市に直接コミットできること」から、既成概念にとらわれない「曖昧な立体（部品）」によって、「これまでにないディスプレイ空間のあり方」の提示が期待できる。
Gr2-2301	教育普及 活動助成	兵庫県立人と自然の博物館	館長 中瀬 勲	衛藤 彬史	研究員	持続可能な暮らしと衣・食・住：暮らしの中の実践を促す空間設計～企画展「Upcycle in Hyogo」の開催に向けて～	持続可能な社会に向けてアップサイクルするということも重要なテーマを選択しており、端切れ布を活用した「播州やたら」など地域に密着した事例を、中高生を含む市民参加によって収集し、展示も加えて展示することによって、大阪万博の開催時期に企画展を開催することで、社会的な効果も期待される。
Gr2-2302	教育普及 活動助成	紅ミュージアム	館長 澤田 晴子	八木原 美佳	ミュージアム エドゥケーター	江戸時代の住空間を再現した体験展示におけるワークショップ実践とその考察	江戸の町家の生活空間を再現して、読書や化粧などのワークショップを行うなど、五感により当時の住空間を実感するもので、興味深い活動である。また、館内だけでなく、教育委員会との連携や出前展示をも想定したもので、その活動が確実に実施できる計画、体制になっている。
Gr2-2303	教育普及 活動助成	貝塚市立自然遊学館	館長 秋山 芳樹	天満 和久	博士研究員	昆虫の前胸にみる造形美とその機能的役割についての3D展示	昆虫標本のデジタルアーカイブ作成と前胸部の造形美と機能を標本と3Dグラフィック展示することにより、生物学的理解と、自然史標本の美術的価値を高める取り組みである。「自然遊学館わくわくクラブ」との協同による市民参加や次世代育成や環境保護活動なども視野に入れた活動である。